

平成 25 年 3 月 16 日(土)の「仏教女性の集い」

日差しも良く暖かな一日。尼僧道場跡地奥に建つ、旧校舎内で「仏教女性の集い」は開催された。その日は道路向かい側に華頂短期大学の卒業式とあって袴姿や振袖姿の大勢の女子大生で華やいでいた。



本日の法話、法然上人御法語後篇 第 17『百万遍』

近藤先生もその情景を「華やかで賑やかでしたね。しかし我々の時は戦時中の物の無い時代、モンペ姿の大変な時代でした」と当時の事を触れられながら、本日の御法語の内容へと移られた。

内容に記載していく

「一枚起請文」を写経、回向と続けました。

お茶席、本日のお菓子は重ね桜

お菓子とお抹茶を頂く。



茶話会の席で、本日の参加者の中で、知恩院で行なわれている写経会に参加されている方がいらっしゃいました。その方は 300 回続けてこられました。

「300 回と言う回数は簡単な事ではなく、本当に長くよく続けられて素晴らしい事です」と知恩院より 300 回続けられて表彰をされた功績を称えられておりました。

その後、参加者の中から「故人に対して後悔のばかりが脳裏から消える事なくずっと心に付いて離れません。この思いは何時か消えていくもののでしょうか」と質問が出て、その回答に値する道しるべを説いて下さいました。

また、他の参加者からは、素朴に阿弥陀様の世界の質問、疑問が次々となされる中、近藤先生は丁寧に質問に答えて下さいました。

本日のお土産は『つぶ餡とこし餡のよもぎ餅』

家に帰り、今日お教えを受けたお話を思い出して一歩ずつでも成長していければと願いつつ美味しくお土産を頂きました。



「仏教女性の集い」は毎月第三土曜日、一時～四時 市バス[知恩院前]下車、徒歩 150m 尼僧道場跡地で開催致しております。

参加費 1,000 円 宗教・宗派は問いません。条件は女性であることだけです。

多数のご参加お待ちしております。

問い合わせは 隆彦院 075-561-7581 まで